

# 『えびなの下水道』

～文化的生活の確保と公共用水域の保全に向けて～



---

海老名市下水道総合計画

(下水道中期ビジョン)

～文化的生活の確保と公共用水域の保全に向けて～

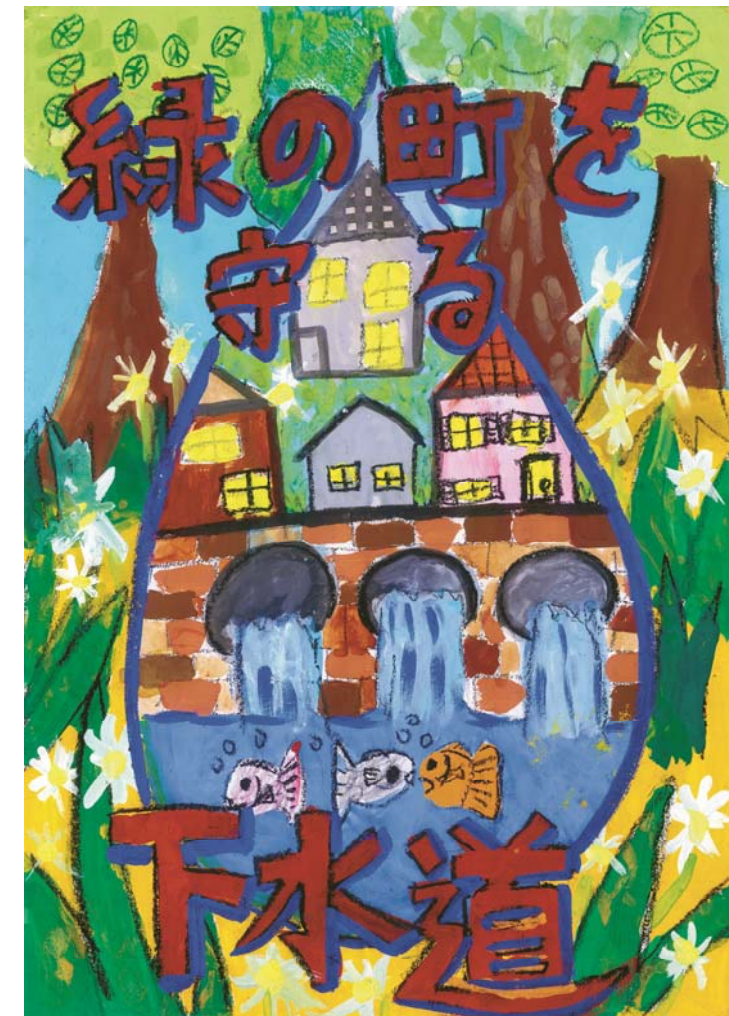
平成24年3月発行

発行・編集 海老名市 建設部 下水道課

住所 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1

電話 046-231-2111 (代表)

---



平成22年度下水道作品コンクール ポスターの部 最優秀賞  
海老名市立今泉小学校 平岡 亜依さん

海老名市下水道総合計画

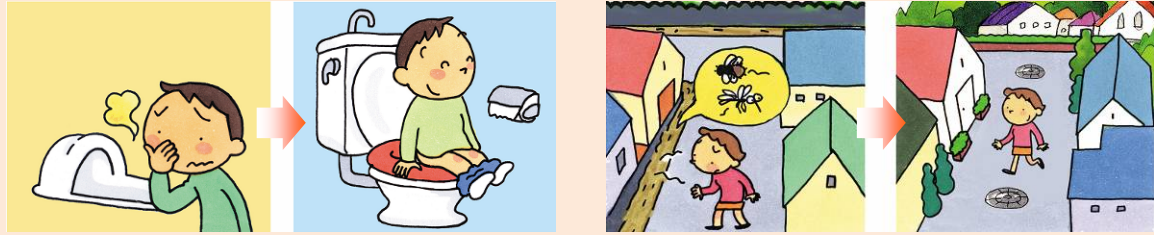
～下水道中期ビジョン～

# これまでの海老名市下水道整備

- 海老名市の下水道は汚水と雨水を別々に排水する計画で整備を進めています
- 汚水の排除を中心に整備（衛生的な環境、河川等の水質保全）

汲み取り便所や浄化槽を使わずに直接下水道へ流せるようにします。

側溝等に下水が流れず、街が美しくなります。蚊やハエの発生を防ぎます。



## ■ 雨水の排除も順次整備

大雨が降ったときにもすばやく排除できるので浸水を防ぎます。



# 海老名市下水道の現状

## － 現状 －

- <汚水> 96.5%の整備完了（平成22年度末）
- <雨水> 39.9%の整備完了（平成22年度末） →汚水に比べて遅れています！

## － 効果 －

### <汚水>

- 水洗トイレは、海老名市の人口約12.6万人中、12.2万人が使えるようになりました。（平成22年度末現在）
- 河川の水がきれいになり目久尻川でアユが戻り（右写真参照）、永池川ではカワセミがみられるようになりました。



魚道でのアオサギがアユを捕らえる様子（目久尻川）  
（出典：「タテヨコナメHP」より）

### <雨水>

- 浸水被害が軽減されました。  
（雨水管線を整備した結果、中新田、門沢橋ほか幹線沿いの浸水が軽減されました）

## － これからの課題 －

地震に強く

100%下水道

いつまでも利用

浸水に強く

資源の活用

信頼のある下水道

# 海老名市下水道総合計画の策定

これまでの整備の進め方

国の方針を基本に  
課題等に対応

社会情勢や環境への対応  
効率的・効果的な事業運営  
様々な課題への財源確保

- ・ 個別事業計画ではなく、下水道全体で考える
- ・ 市の実情にあった中長期的な下水道事業の基本方針の明示
- ・ 市民のみなさんと一緒に考え、多くの意見を取り入れて定期的な見直し

日常的な取組  
重点的に取り組む施策  
財政的な裏付け

- ・ 今後10年間の整備方針（平成24年度～平成33年度）
- ・ 各施策に対する優先度や重要度の設定
- ・ 実現可能な事業計画や財政計画

# 具体的な取組

## 汚水管路施設の施策

### ■地震に強く■ （地震対策）

- ・ 「下水道総合地震対策計画」を策定し計画的に対策を進めます。
- ・ 同計画に基づき、管路施設の耐震化などを進めます。

### ■100%下水道■ （生活排水処理）

- ・ 下水道による整備を推進します。
- ・ 下水道の事業認可区域外の区域については、当面の間、合併処理浄化槽による処理を行います。

### ■いつまでも利用■ （長寿命化対策）

- ・ 市域全体に渡る下水道管路施設の老朽化の点検・調査を進め、下水道長寿命化計画を策定します。
- ・ 下水道長寿命化計画に基づき対策工事を実施します。

## 雨水管路施設の施策

### ■浸水に強く■ （浸水対策）

- ・ 雨水管渠整備を進めます。
- ・ 内水ハザードマップを作成し、市民の自助意識・防災意識の定着を図り、また雨水の対策区域の優先度検討に利用します。

### ■資源の活用■ （下水道資源の利活用）

- ・ 地下水の水量を豊かにしたり、雨水活用施設の設置促進を図ります。
- ・ 海老名市開発指導要綱に基づき、開発・建築行為時の雨水調整池や浸透施設の設置を指導します。

## 全体的な施策

### ■信頼のある下水道■ （効率的な下水道経営）

- ・ 下水道台帳を電子化し、閲覧などの窓口業務や下水道情報の集計など業務効率化を図ります。
- ・ 下水道資産を把握し、事業経営の効率化を図ります。

### ■その他■

- ・ 事業場排水の水質調査
- ・ 不明水対策の推進
- ・ 流量調査の実施
- ・ 管路施設の維持管理（巡視・点検・清掃等）など